

東北大学 国際集積エレクトロニクス研究開発センター研究員(ポスドク)の公募

東北大学 国際集積エレクトロニクス研究開発センターでは、下記の要領で研究員(ポスドク)の公募を行うことになりました。熱意と意欲のある方はぜひ応募下さい。

1. 公募人員:
研究員(ポスドク) 4名程度
2. 所属:
東北大学 国際集積エレクトロニクス研究開発センター
3. 専門分野:
STT-MRAM などスピントロニクス素子と、そのロジック応用に関する研究開発
4. 職務:
以下のいずれか。
<研究開発部門>
 - (1) MTJ(磁気トンネル接合)素子にかかる磁性材料・プロセス技術の研究開発
 - (2) 磁性材料にかかる物性評価・分析技術の研究開発
 - (3) スピントロニクス素子、特に STT-MRAM にかかるデバイス技術の研究開発
 - (4) MTJ などのスピントロニクス素子とCMOS集積回路の集積化プロセスの研究開発
 - (5) スピントロニクス素子に基づく不揮発性ロジックにかかる回路・アーキテクチャの研究開発
 - (6) スピントロニクス素子に基づく不揮発性ロジックにかかる設計ツール(CAD・TCAD)の研究開発
5. 応募資格:
博士の学位を有する者(含む任用までに取得見込みの者)。
6. 待遇:
常勤の研究員(助教相当)として採用。
7. 応募期間:
平成25年5月29日(水)から平成25年7月16日(火)まで上記日を締切としますが、選考は適任者が見つかるまで続けます。従って、締切日を過ぎても応募を受け付ける場合があります。
8. 着任時期:
可能な限り早い時期。
9. 任期:
3年~5年
10. 提出書類:
 - (1) 履歴書(高卒以降、学歴、職歴、写真貼付、書式自由、連絡先を明記)
 - (2) 研究・開発業績リスト(論文、総説、報告書、国際会議プロシーディングス、特許、学会発表要旨集、受賞、学会・社会における活動状況、外部資金獲得状況、その他)
 - (3) 主な原著論文(5編)の別刷りまたはコピー、およびその概要
 - (4) 主要な国際会議プロシーディングスや学会発表(5編)の別刷りまたはコピー、およびその概要
 - (5) これまでの国内外での活動の概要(A4 片面 2ページ以内)
 - (6) 着任後の研究計画と抱負(A4 片面 2ページ以内)
 - (7) 応募者について意見を伺える方(2名)の氏名・所属・連絡先

※書類は、表に「国際集積エレクトロニクス研究開発センター」研究員(ポスドク)応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は簡易書留とすること。
応募書類は、特に申し出のない限り返却しませんので、ご了承下さい。

11. 選考方法:

書類による審査の後、面接もしくはプレゼンテーションをお願いすることがあります。そのための交通費や滞在費などは応募者の負担とします。

12. 書類送付先:

〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1
東北大学 国際集積エレクトロニクス研究開発センター
センター長 遠藤 哲郎

13. 問合せ先:

東北大学 国際集積エレクトロニクス研究開発センター
戦略企画部門 山田盛一

電話: 022-796-3414 Fax : 022-796-3432

E-mail : yamadas●cies.tohoku.ac.jp

(注 メールで問い合わせる場合は、●を@に入れ替えて下さい。)

14. 参考:

(東北大学国際集積エレクトロニクス研究開発センターの設置目的)

集積エレクトロニクス技術を研究開発し、及びその技術に係る国際的産学連携拠点の構築を図ることにより、次世代集積エレクトロニクス分野における我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、当該分野の技術の実用化及び新産業の創出を目的とする。

(男女共同参画について)

東北大学は男女共同参画を推進しています。子育て支援の詳細等、男女共同参画の取り組みについては下記URLをご覧ください。

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo>